

映像上映会・鼎談

「拡張された領域における映像実験プロジェクト」(仮題)
リサーチプログラム / Anthro-film Laboratory 30

雲南からのイメージの創造

—映像人類学研究を事例に—

2018年3月22日(木) 16:30-19:30
MEDIA SHOP | gallery

登壇者: Zhang Hai / 张海 (雲南大学映像人類学研究所所長)、
Bao Jiang / 鮑江 (中国社会科学院社会学研究所教授)、川瀬慈
(国立民族学博物館准教授)

※参加無料・申込不要 / 発表・議論の言語は英語(英日逐次通訳あり)

主催: 京都市立芸術大学、Anthro-film Laboratory



雲南からのイメージの創造

—映像人類学研究を事例に—

2018年3月22日(木) 16:30-19:30
MEDIA SHOP | gallery登壇者: Zhang Hai / 张海 (雲南大学映像人類学研究所所長)、
Bao Jiang / 鮑江 (中国社会科学院社会学研究所教授)、川瀬慈
(国立民族学博物館准教授)

※参加無料・申込不要/発表・議論の言語は英語(英日逐次通訳あり)

主催: 京都市立芸術大学、Anthro-film Laboratory

京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA では、「感覚民族誌」の観点からみて優れたアプローチをとる実践や、身体深部の感覚や感性の作用を問う表現に着目した展覧会を次年度に企画しています(会期:2018年6月2日(土)~7月8日(日))。そのリサーチの一環として、Anthro-film Laboratoryの映像上映会と鼎談を開催します。

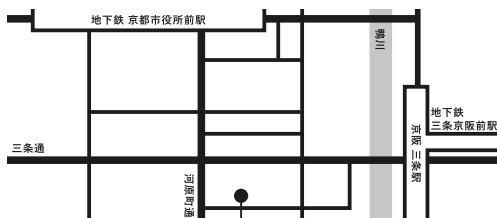
多種多様な民族文化を擁する中華人民共和国雲南省では、1990年代以降、少数民族の出自を持つ人類学者や映画作家が活発に映画制作を行ってきた。そのなかからは、中国の映像人類学研究を牽引する学者や、国際的なドキュメンタリー映画祭で活躍する作家も生まれている。本会では、雲南を代表する映像人類学者であり民族誌映画制作の指導者でもある Zhang Hai (张海) と、人類学的な認識体系に対する、映画的な話法を通じた批判的検討を行う Bao Jiang (鮑江) が最新作を上映する。Zhang Hai はブーラン族、Bao Jiang はナシ族を対象に、両者とも、新年を祝う儀礼とその変容の記録を作品のテーマに掲げる。作品の上映後、両者と川瀬慈とで上映作品の制作方法論や雲南を対象とした映像人類学研究、民族誌映画制作の動向について自由に語り合う。(Anthro-film Laboratory)

登壇者プロフィール

Zhang Hai (张海) 1977年雲南省出身。雲南大学民族学・社会学研究科・映像人類学研究所所長。イ族の出自を持つ文化人類学者。主に、ブーラン族、トロン族、ダイ族、ナシ族等、雲南の少数民族の儀礼をテーマにした民族誌映画を制作してきた。中国内外の学術映画祭での入選・受賞多数。同時に、雲南をベースにする数多くの若手人類学者の民族誌映画制作を指導、サポートしてきた。主な映像作品に『So Far, So Near』(2018)、『The Nima's Feast』(2015)、『Ka Qewwa Festival of Dulong』(2015)、『Under the Shield of Gemu Goddess Mountain』(2009)、『Mr. Cool』(2004)等がある。

Bao Jiang (鮑江) 1968年雲南省出身。中国社会科学院社会学研究所教授。ナシ族の出自を持つ文化人類学者。ナシ族の宗教儀礼やコスモロジーをテーマにした著作やCine-Anthropologyの理論に関する著作を多数発表する。また人類学的な議論をベースにラディカルな実験映画を制作する映像作家としても知られる。代表的な映像作品に『Happy New Year』(2017)、『Travelling to the County for Cataract Surgeries』(2014)、『The Large Family and the Small』(2008)、『Dongba He』(2000)等がある。

川瀬慈 1977年岐阜県出身。国立民族学博物館・人類基礎理論研究部准教授。専門は映像人類学、民族誌映画、アフリカ研究。2012年より映像制作のセミナーAnthro-film Laboratoryを共同運営し、人類学、シネマ、現代アートの交差点から、イメージやサウンドを用いた話法を開拓する。代表的な映像作品に『めばえる歌—民謡の伝承と創造—』(2017)、『精霊の馬』(2012)、『Room 11, Ethiopia Hotel』(2007)、『僕らの時代は』(2006)、『ラビロッチー—終わらなき祝福を生きる—』(2004)。主な著作は『アフリカン・ポップス!—文化人類学からみる魅惑の音楽世界』(共編著、明石書店、2015)、『フィールド映像術』(共編著、古今書院、2015)、『ストリートの精霊たち』(単著、世界思想社、近刊)等。
<http://www.itsushikawase.com>



会場・場所についてのお問合せ

MEDIA SHOP | gallery

〒604-8031 京都市中京区河原町通三条下大黒町 44 VOX ビル 1F

TEL: 075-255-0783 URL: <http://www.media-shop.co.jp>

「三条」駅1番出口より徒歩5分

本企画についてのお問合せ

京都市立芸術大学ギャラリー @KCUA

TEL: 075-253-1509 E-mail: gallery@kcuu.ac.jp URL: <http://gallery.kcuu.ac.jp>

上映作品

『Le Hong Songkran: The June
New Year Festival of Bulang
People』監督: Zhang Hai (张海)
上映時間: 40分
言語: 官話、ブーラン語、
英語字幕付き
制作年: 2017

『Happy New Year』

監督: Bao Jiang (鮑江)
上映時間: 58分
言語: ナシ語、中国語、
英語字幕付き
制作年: 2017

※各作品の概要(英語)は@KCUA公式サイト参照